

お米と。あなたと。



2022年12月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年11月10日

上場会社名 木徳神糧株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 2700 URL https://www.kitoku-shinryo.co.jp/  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長執行役員 C O O (氏名) 竹内 伸夫  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員管理部門統括 (氏名) 稲垣 英樹 (TEL) 03-3233-5121  
 四半期報告書提出予定日 2022年11月11日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年12月期第3四半期の連結業績 (2022年1月1日~2022年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年12月期第3四半期	78,717	△5.5	998	156.9	996	121.5	807	111.5
2021年12月期第3四半期	83,306	1.5	388	287.4	449	174.9	381	456.2

(注) 包括利益 2022年12月期第3四半期 991百万円 (10.3%) 2021年12月期第3四半期 898百万円 (-%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2022年12月期第3四半期	498.29	—
2021年12月期第3四半期	235.53	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2022年12月期第3四半期	26,054	11,486	42.9
2021年12月期	29,863	10,579	34.6

(参考) 自己資本 2022年12月期第3四半期 11,165百万円 2021年12月期 10,332百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2021年12月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2022年12月期	—	25.00	—	—	—
2022年12月期(予想)	—	—	—	35.00	60.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

(注) 2022年12月期期末配当金(予想)の内訳 普通配当 25円00銭 記念配当 10円00銭 (創業140周年記念配当)

3. 2022年12月期の連結業績予想 (2022年1月1日~2022年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	103,000	△4.5	1,000	90.0	1,050	70.9	900	78.2	555.46

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無  
(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)  
新規 一社 (社名) 、除外 一社 (社名)
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2022年12月期 3 Q	1,706,000株	2021年12月期	1,706,000株
② 期末自己株式数	2022年12月期 3 Q	85,797株	2021年12月期	85,663株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2022年12月期 3 Q	1,620,267株	2021年12月期 3 Q	1,620,461株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期連結貸借対照表	3
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	5
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(会計方針の変更)	7

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2022年1月1日～2022年9月30日)におけるわが国の経済は、新型コロナウイルス感染症対策がとられる中で回復の動きが見られましたが、ロシア・ウクライナ情勢に端を発する資源価格や穀物価格の世界的な高騰、急速な円安の進行、新型コロナウイルス感染症の再拡大の懸念等、経済環境の先行きが不透明な状況が続いております。

当社グループが属する食品流通業界におきましては、まん延防止等重点措置の解除により中食・外食需要が持ち直したものの、記録的な円安の影響を受けたエネルギーや食品価格の高騰による先行きへの不安から消費者の節約志向は根強く、依然として厳しい状況が続いています。

当社グループの主力である米穀事業においては、行動制限が解除されたことで外食需要が回復し、コンビニエンスストアを中心に中食向けの販売も堅調でした。しかしながら、豊作が続いたことによる供給過剰が継続し国内の米穀取引価格が下落傾向で推移したこと、量販店における家庭用向けの販売数量が低調だったこと、前年同期と比較してミニマム・アクセス米の販売数量が大幅に減少したこと等により、売上高は78,717百万円(前年同期比5.5%減)となりました。

また、損益面では、生産や流通に関するコスト全般が上昇する状況にありましたが、米穀の需給が緩むなか、販売に見合った仕入を行い在庫数量の適正化を図ったことに加え、需給環境に応じた仕入ルートの開拓と複線化を推進し、原料調達や提案営業において優位性を確保できたこと等から、営業利益は998百万円(前年同期比156.9%増)、経常利益は996百万円(前年同期比121.5%増)となりました。また、保有する投資有価証券の一部売却を行ったことによる特別利益の計上があったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は807百万円(前年同期比111.5%増)となりました。

### (2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末における総資産は26,054百万円となり、前連結会計年度末と比べ3,808百万円の減少となりました。これは主に前渡金の増加額122百万円、未収入金の増加額308百万円等に対し、受取手形及び売掛金の減少額1,463百万円、棚卸資産の減少額2,795百万円等があったためであります。

負債につきましては負債合計が14,568百万円となり、前連結会計年度末と比べ4,715百万円の減少となりました。これは主にその他流動負債の増加額2,089百万円等に対し、支払手形及び買掛金の減少額857百万円、短期借入金の減少額3,783百万円、長期借入金(1年内返済予定の長期借入金を含む)の減少額2,224百万円等があったためであります。

純資産につきましては純資産合計が11,486百万円となり、前連結会計年度末と比べ906百万円の増加となりました。これは主に利益剰余金の増加額723百万円、その他有価証券評価差額金の増加額64百万円、為替換算調整勘定の増加額74百万円等があったためであります。

### (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2022年12月期の通期連結業績予想につきましては、2022年4月22日発表の予想から変更ありません。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,848,892	1,712,225
受取手形及び売掛金	8,888,020	7,424,795
商品及び製品	3,634,502	2,225,167
仕掛品	332,601	253,730
原材料及び貯蔵品	3,971,858	2,664,624
前渡金	2,228,344	2,350,883
未収入金	202,831	511,805
その他	185,062	158,000
貸倒引当金	△12,865	△7,866
流動資産合計	21,279,248	17,293,366
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	1,599,274	1,521,223
機械装置及び運搬具(純額)	981,997	1,003,251
土地	2,077,668	2,077,668
リース資産(純額)	68,638	52,573
その他(純額)	23,170	203,158
有形固定資産合計	4,750,749	4,857,875
無形固定資産		
ソフトウェア	53,659	47,152
リース資産	52,926	40,391
その他	22,677	34,898
無形固定資産合計	129,264	122,443
投資その他の資産		
投資有価証券	3,320,904	3,398,216
長期貸付金	155	—
長期前払費用	21,596	18,939
差入保証金	341,277	342,834
その他	21,368	21,409
貸倒引当金	△839	△315
投資その他の資産合計	3,704,463	3,781,083
固定資産合計	8,584,476	8,761,401
資産合計	29,863,725	26,054,768

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年12月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2022年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	4,094,473	3,236,606
短期借入金	7,341,961	3,558,097
1年内返済予定の長期借入金	3,047,296	1,953,501
リース債務	38,133	38,133
未払金	1,139,741	830,790
未払法人税等	123,018	354,915
賞与引当金	187,204	374,126
その他	493,875	2,583,724
流動負債合計	16,465,705	12,929,896
固定負債		
長期借入金	2,238,460	1,107,970
リース債務	83,432	54,831
繰延税金負債	238,486	210,901
役員退職慰労引当金	149,381	159,106
資産除去債務	78,235	78,462
その他	30,427	27,510
固定負債合計	2,818,422	1,638,783
負債合計	19,284,128	14,568,679
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	529,500	529,500
資本剰余金	380,174	380,174
利益剰余金	9,148,224	9,871,645
自己株式	△288,280	△288,899
株主資本合計	9,769,618	10,492,420
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	555,671	619,914
繰延ヘッジ損益	40,169	11,403
為替換算調整勘定	△32,878	41,900
その他の包括利益累計額合計	562,963	673,218
非支配株主持分	247,015	320,449
純資産合計	10,579,597	11,486,088
負債純資産合計	29,863,725	26,054,768

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

## 四半期連結損益計算書

## 第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自2021年1月1日 至2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自2022年1月1日 至2022年9月30日)
売上高	83,306,765	78,717,640
売上原価	78,891,692	73,596,106
売上総利益	4,415,072	5,121,534
販売費及び一般管理費	4,026,294	4,122,942
営業利益	388,777	998,592
営業外収益		
受取利息	1,378	1,653
受取配当金	93,164	91,310
受取保険金	3,364	8,801
不動産賃貸料	21,257	21,872
貸倒引当金戻入額	1,590	5,610
その他	26,437	39,496
営業外収益合計	147,193	168,745
営業外費用		
支払利息	47,437	48,918
不動産賃貸費用	5,785	5,595
為替差損	21,268	97,141
燻蒸委託費用	1,078	—
その他	10,731	19,601
営業外費用合計	86,302	171,256
経常利益	449,668	996,080
特別利益		
固定資産売却益	—	0
投資有価証券売却益	—	188,683
補助金収入	—	13,682
特別利益合計	—	202,367
特別損失		
固定資産除却損	0	584
投資有価証券評価損	626	—
特別損失合計	626	584
税金等調整前四半期純利益	449,042	1,197,863
法人税、住民税及び事業税	88,011	403,439
法人税等調整額	△34,647	△42,140
法人税等合計	53,364	361,298
四半期純利益	395,678	836,564
非支配株主に帰属する四半期純利益	14,006	29,201
親会社株主に帰属する四半期純利益	381,672	807,363

四半期連結包括利益計算書  
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2021年1月1日 至 2021年9月30日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2022年1月1日 至 2022年9月30日)
四半期純利益	395,678	836,564
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	417,848	64,242
繰延ヘッジ損益	31,327	△28,766
為替換算調整勘定	53,376	119,011
その他の包括利益合計	502,552	154,487
四半期包括利益	898,230	991,052
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	864,200	917,618
非支配株主に係る四半期包括利益	34,029	73,434



(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

これにより、有償支給取引について、従来は有償支給した支給品等に係る収益を認識しておりましたが、当該収益を認識しない方法に変更しております。また、顧客への財またはサービスの提供における役割が代理人に該当する取引について、従来顧客から受け取る対価の総額を収益として認識しておりましたが、当社グループの役割が代理人に該当する取引については、純額で収益を認識する方法に変更しております。さらに、従来は販売費及び一般管理費に計上していた一部の費用について、顧客に支払われる対価として、売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、第1四半期連結会計期間の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、第1四半期連結会計期間の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

収益認識会計基準等の適用による、当第3四半期連結累計期間の損益及び期首利益剰余金に与える影響は軽微であります。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、四半期連結財務諸表に与える影響はありません。